

平成28年8月から9月にかけての
大雨等災害に関する検証委員会（第1回）

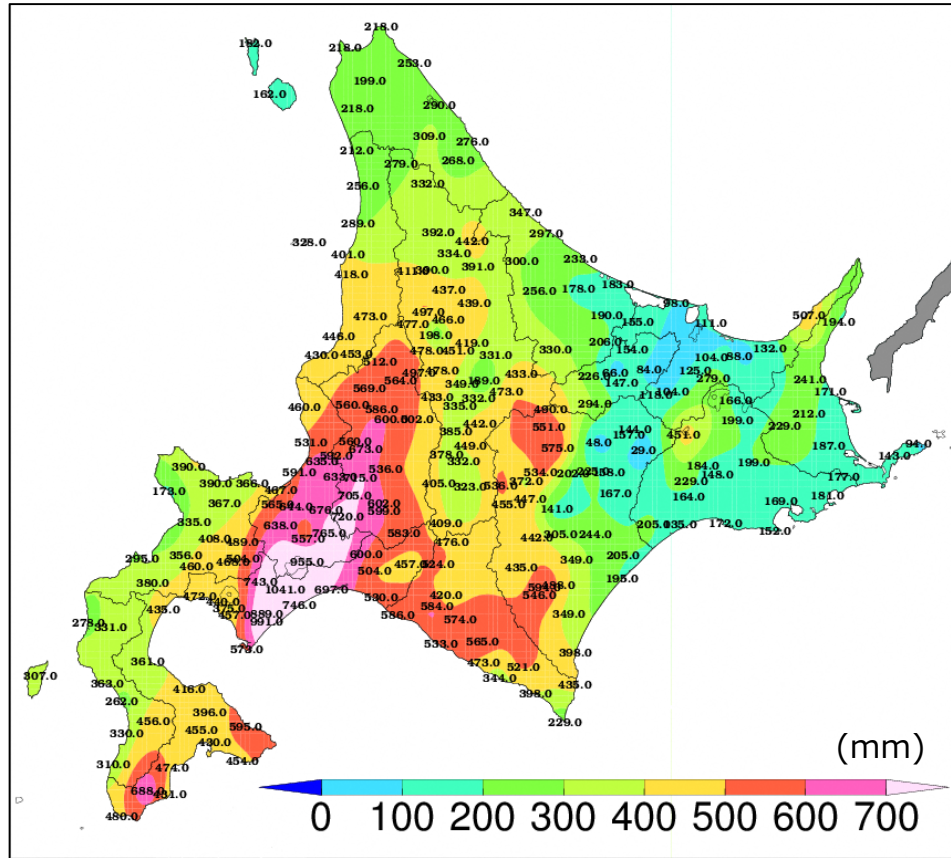
資料4

平成28年8月を中心とした 大雨について ～相次いだ台風と前線停滞～

平成28年10月26日
札幌管区気象台

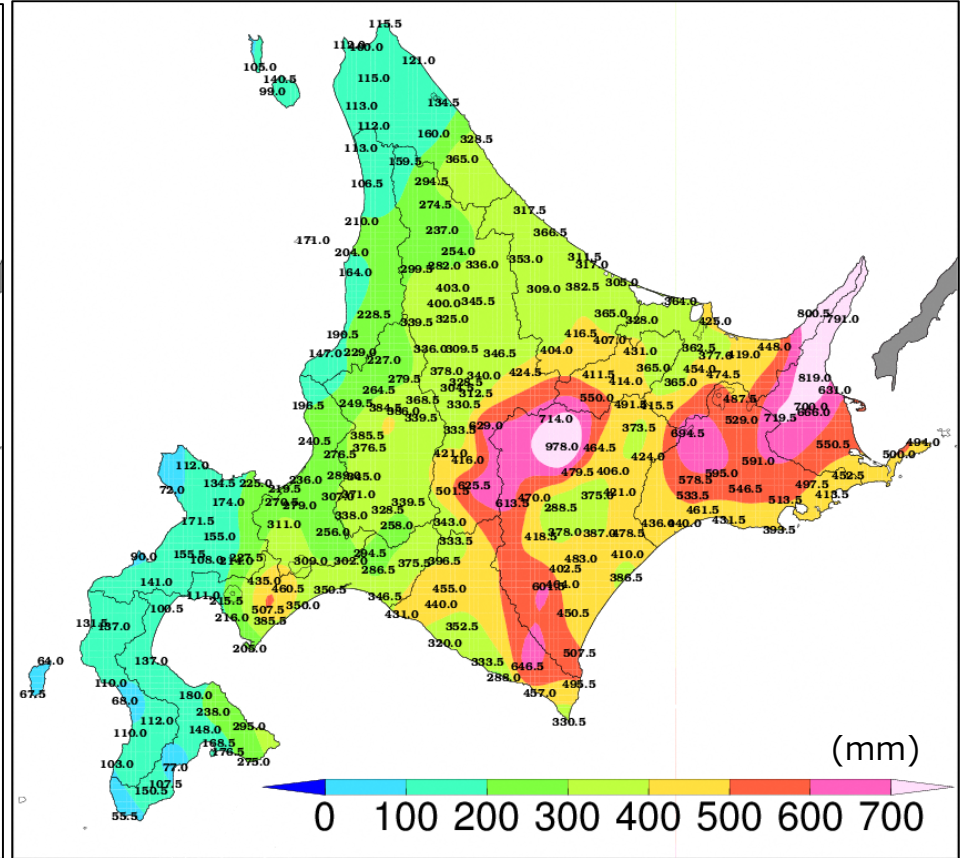
アメダスによる北海道内における雨量分布

昭和56年8月 (「56水害」)



石狩川流域、胆振・日高地方で500ミリ以上

平成28年8月



十勝・釧路・根室・網走・日高地方で500ミリ以上

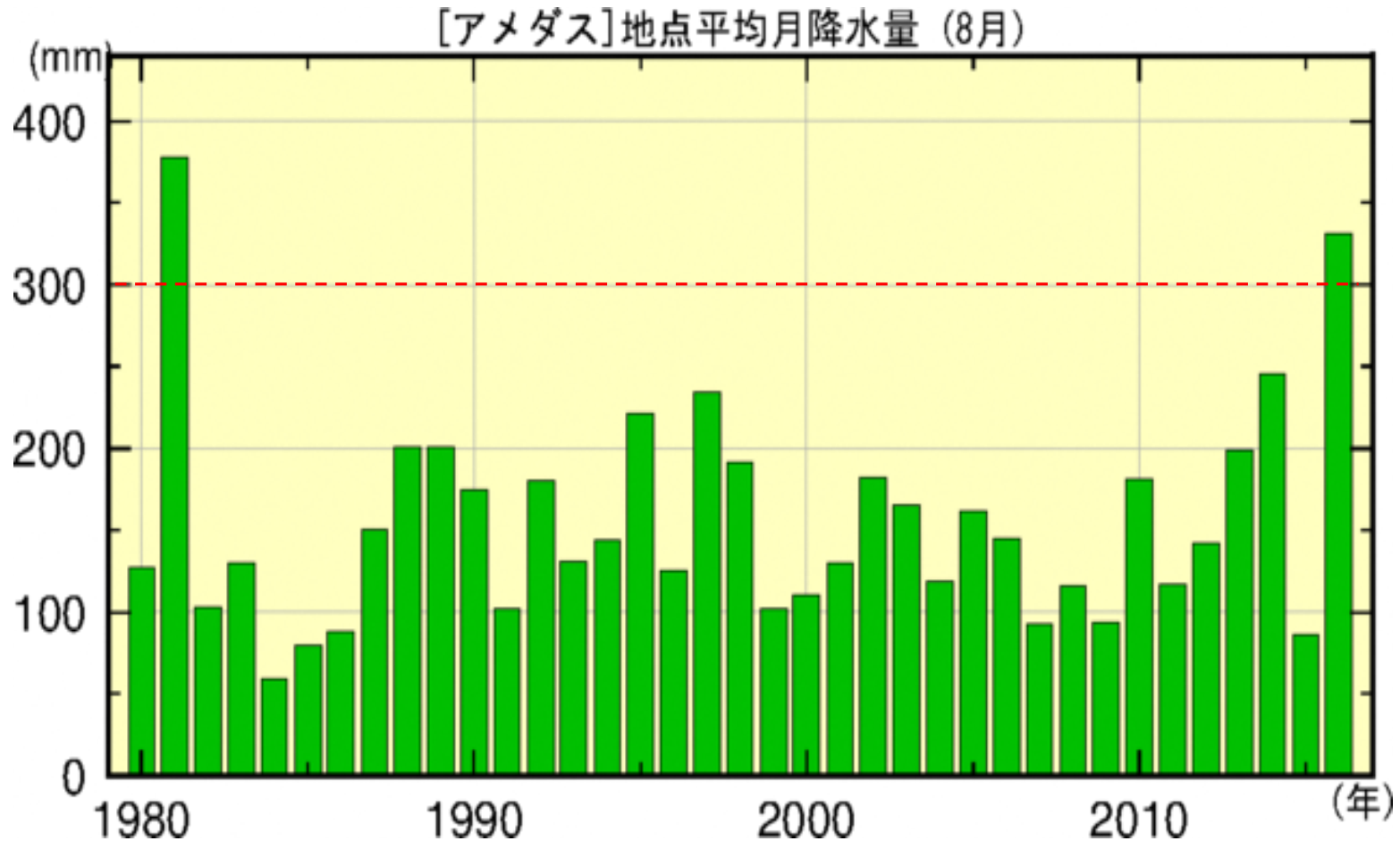
アメダスによる振興局別雨量平年比（単位：％）

（平年値期間は1981-2010年。順位は1980-2016年から算出）

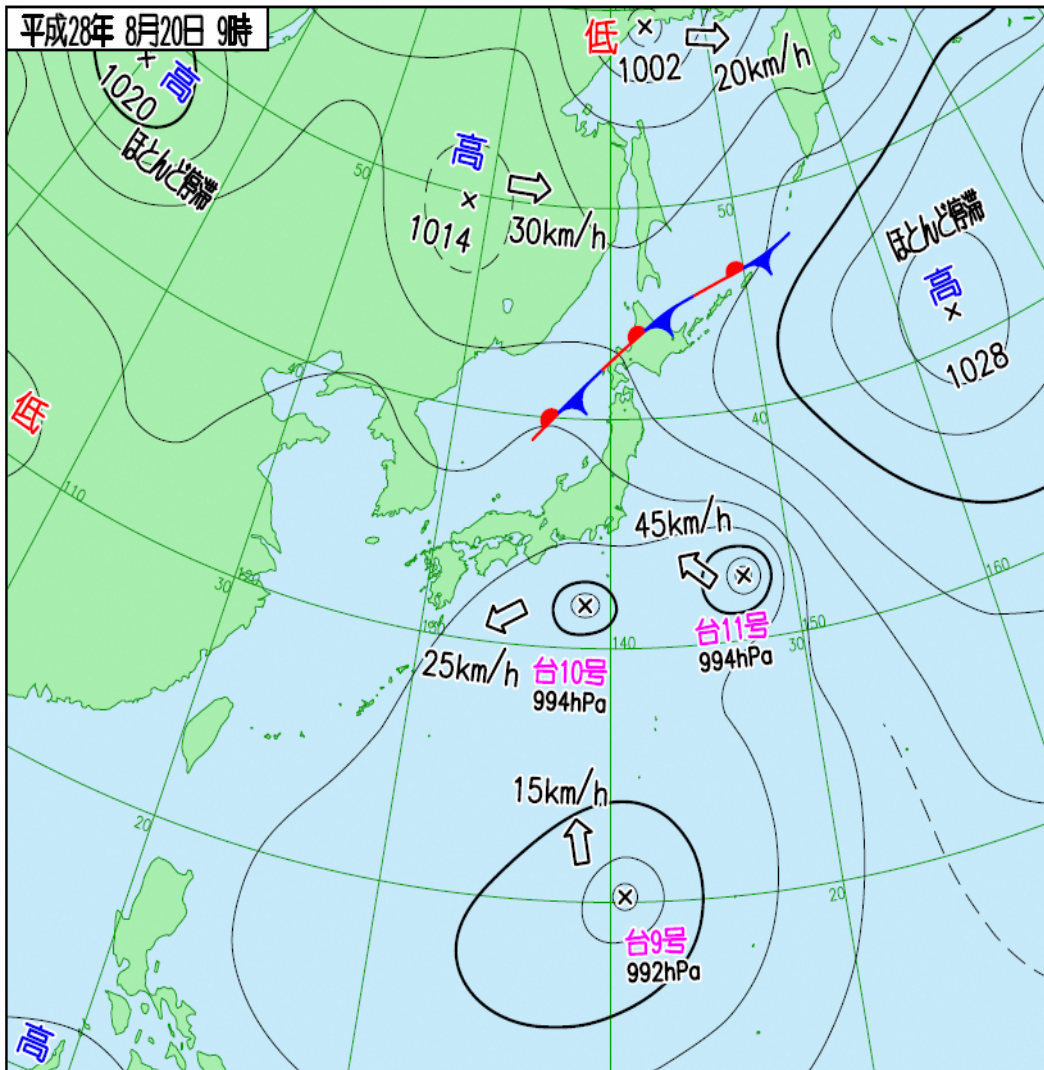
	北海道		宗谷	上川	留萌	石狩	空知	後志
2016年の平年比	229		132	241	138	183	214	115
2016年の順位	2		9	2	8	2	2	12
これまでの1位 (カッコ内は年)	248 (1981)		205 (2014)	278 (1981)	285 (1981)	429 (1981)	410 (1981)	268 (1981)
	オホーツク	根室	釧路	十勝	胆振	日高	渡島	檜山
2016年の平年比	360	426	354	294	151	216	86	74
2016年の順位	1	1	1	1	4	2	21	22
これまでの1位 (カッコ内は年)	207 (2006)	218 (1998)	220 (1998)	197 (1981)	303 (1981)	242 (1981)	270 (1981)	229 (1995)

- 北海道全体で見るとこの1980年以降で2番目の記録的な降水量。
- 降水量が多い領域は道東の太平洋側が中心。特に根室は平年の4倍。
- 渡島半島では平年以下。

北海道内の月降水量の経年変化（8月）



1981年（昭和56年）以来の記録的な降水量

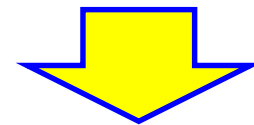


1. 台風の北上の原因

- (1) 太平洋高気圧が北偏し、日本付近への張り出しが例年に比べて弱かった
- (2) 上空の偏西風が蛇行していた

2. 大雨の原因

- (1) 北海道付近での前線の停滞
- (2) 本州付近の台風から暖かく湿った空気が北海道付近に入りやすい気圧配置が持続
- (3) 停滞していた前線の活動の活発化と台風本体の北上



このため、次々と断続的に激しい雨が降り、それぞれの事例で長雨が続き、総降水量が多くなった